

障害の有無を越えて～「共生社会」のリアリティを問う～

《第50回記念 香川大会 のお誘い》

障害者差別解消法が2016年4月に施行され、障害のある人の雇用者数も近年増加傾向にあります。しかし、他方で、相模原障害者殺傷事件や生活保護者へのバッシングに見られるように、経済成長や効率性が重視される社会の中で自立や自己責任が過度に強調され、「役に立たない」とされる者を排除しようとする動きも見受けられます。

障害者と健常者がともに生きる社会は、実際のところ、実現に向けて進んでいるのでしょうか。どのような壁がそれを妨げているのでしょうか。障害のある人々が、社会の中でいきいきと活動し、その力や可能性を存分に発揮するには、今何が必要なのでしょうか。

これらの問いを、さまざまな角度から検証し、実践につないでいくために本大会を開催いたします。

大会プログラム(午後の部)

I 基調講演 (13:00~14:00)

スティグマへの抵抗：障害と依存症を例に

講師 熊谷 晋一郎(東京大学 先端科学技術研究センター)

講師プロフィール

熊谷晋一郎 (くまがや・しんいちろう)

1977年生まれ。小児科医。新生児仮死の後遺症で車椅子生活となる。東京大学医学部卒業後、病院勤務を経て、現在、東京大学先端科学技術研究センター准教授。

著書に『リハビリの夜』(医学書院)、『発達障害当事者研究』(医学書院、共著)、『つながりの作法』(NHK出版、共著)、『みんなの当事者研究』(金剛出版、編著)など。

II シンポジウム (14:15~16:15)

「共生社会」のリアリティを問う

コーディネーター 西谷 清美(四国学院大学 社会福祉学部)
シンポジスト 佐野 和明(障害者就業・生活支援センター わーくわく)
田中 慎治(障害福祉サービス事業所 善通寺希望の家)
山本 康子(就労継続支援B型事業所 だんしエコ作業所)

大会参加は
参加費が必要です

開催日時 2018年7月14日(土) 10:00~16:30

開催場所 四国学院大学 (香川県善通寺市文京町3-2-1)

内容 [午前] 自由研究発表
[午後] 基調講演、シンポジウム

申し込み 学会ホームページ(地域ブロック情報)をご覧ください。(当日参加あり)

参加費 会員1,500円、非会員2,000円、学生無料

主催 日本社会福祉学会 中国・四国地域ブロック

その他 ・手話通訳があります。

・午後から参加の方は、直接会場(711教室)にお越しください。

・四国学院大学の駐車場をご利用ください。1回の使用料は300円です。



学会HP QRコード

